

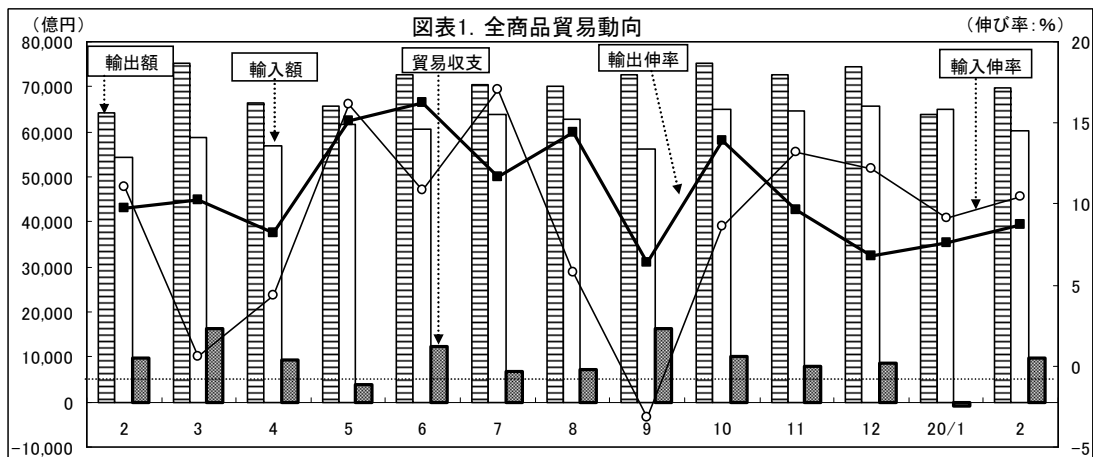
最近の機械貿易動向（平成 20 年 2 月）について

平成 20 年 4 月 17 日

・平成 20 年 2 月の機械輸出は、対前年同月比 6.5%増と 12 月以降 5～6%台の成長が続いている。これはドル安円高で円建輸出額が 5.6%減少したが、地域的には、その他地域および中国向けが高い伸びを維持し、米国向けの減少を補っている状況にある。3 月は昨年より実働日が 1 日少ない(5%減)上に、対ドル、ユーロ円高により 5.4%の減少要因となることから、伸び率のマイナスも予想される。なお、3 月上中旬の全商品輸出額は 6.8%増である。

1. 全商品貿易動向～輸出入ともに伸び率拡大～

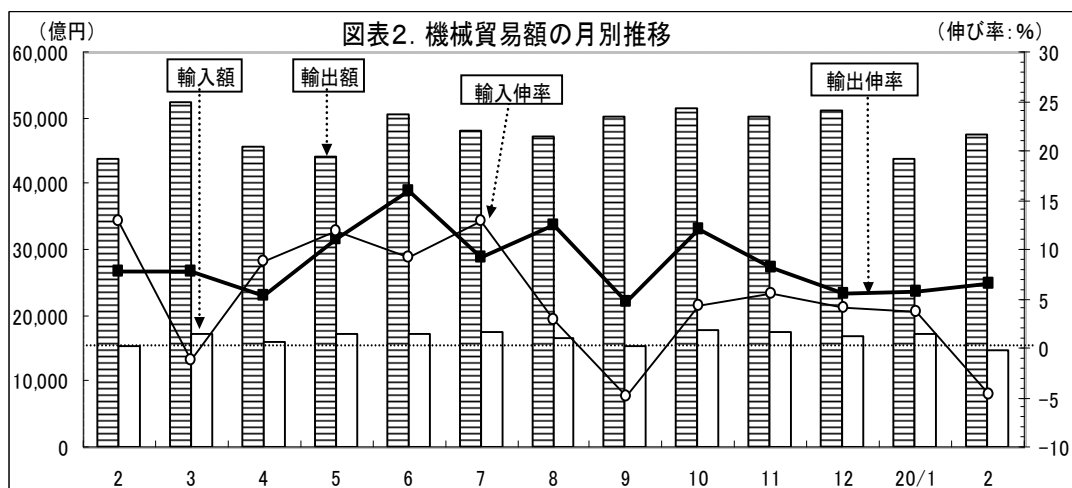
- ・平成 20 年 2 月の全商品輸出額は 6 兆 9,754 億円、前年同月比（以下同じ）8.7%増と伸び率は拡大した。商品別では、全輸出額の 26%を占める輸送用機器(10.9%増)、20%の一般機械(8.8%増)、5%の鉄鋼(11%増)が全体を牽引した。一方、18%の電気機器(2.2%減)はマイナスであった。
- ・輸入額は 6 兆 92 億円、10.4%増と前月に比べ伸び率が拡大した。これは、全輸入額の 36%を占める原油・ガス等の鉱物性燃料が 53.4%の大幅増となったことによるものである。
- ・この結果、2 月の貿易収支は輸入の伸び率が輸出を上回ったものの、9,662 億円の黒字となった。



2. 機械貿易動向

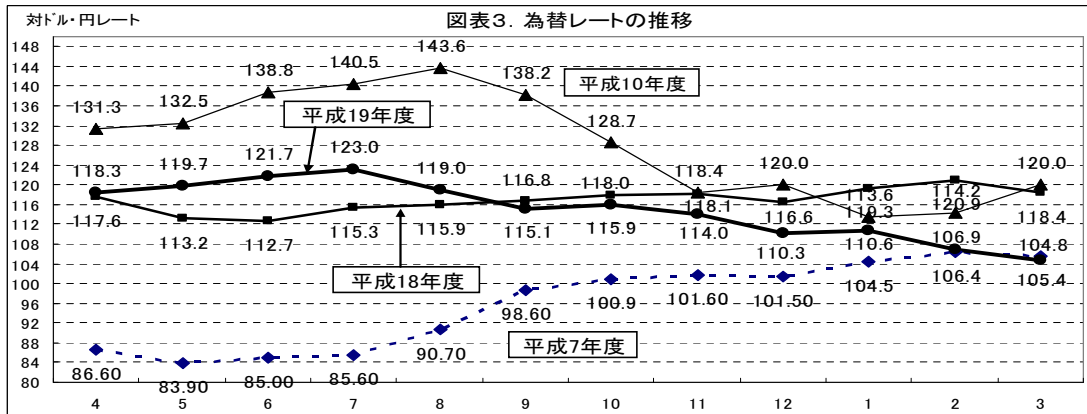
(1) 機械輸出入動向～機械輸出は緩い伸び、輸入はマイナス～

- ・全商品輸出額の 68%を占める 2 月の機械輸出額は 4 兆 7,457 億円、6.5%増と前月よりやや拡大。
- ・一方、全商品輸入額の 25%を占める 2 月の機械輸入額は、1 兆 4,789 億円、4.6%減と国内景気の鈍化を反映して、5 ヶ月ぶりにマイナスとなった。



(2) 為替動向～2月はうるう年が為替減少要因を相殺、3月はマイナスの可能性も～

- ・平成20年2月は1ドル=106.9円と11.6%の円高、対ユーロでも32ヵ月ぶりに0.1%の円高となり、全体では5.6%の大幅な減少要因となった。一方、うるう年で前年より実働日が1日多く5%程度の増加要因となったことから、為替要因はほぼ相殺された。機械輸出伸び率を為替要因、実働日で調整すると、実質伸び率は6.8%増となったが、前月(8.9%増)に続き伸び率の鈍化は続いている。
- ・3月は1ドル=104.8円と対ドルで11.5%の大幅な円高となり、対ユーロでは1.4%の円安に戻り、全体では5.4%の大幅な減少要因となる。さらに、3月は前年より実働日が1日少なく、これが5%程度の減少要因となるため、伸び率はマイナスとなる可能性もある。4月、5月は、仮に対ドルで100円、対ユーロが158円で推移した場合には、為替による円建輸出額の減少要因は7.5%～8.2%になる。



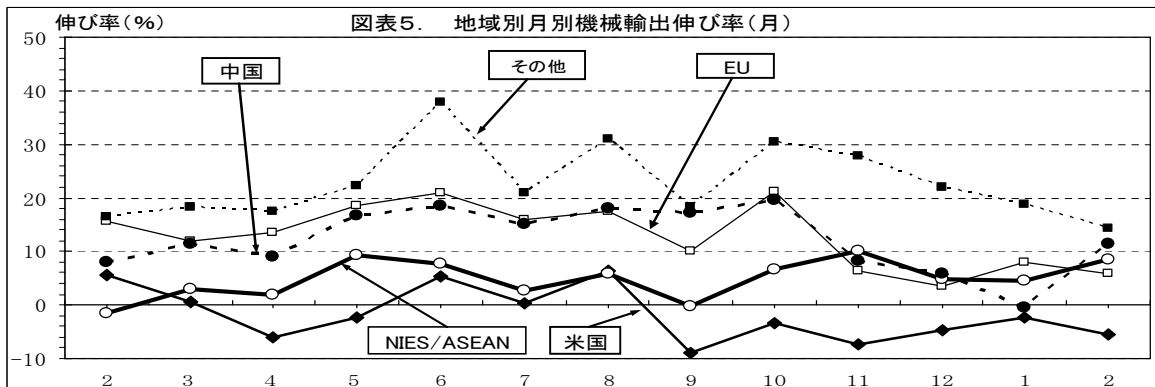
(3) 地域別輸出動向～その他地域向け依然二桁増、中国向け二桁回復、米国向け6ヶ月連続減～

- ・地域別で見ると、①機械輸出の23%を占める**その他地域向け**はロシア東欧、南米、中近東、インド、大洋州向けが好調で14.2%増と高い伸びが続いている。②12%を占める**中国向け**は好調の自動車や半導体フラットパネル製造装置に牽引され11.4%増と二桁増へ回復した。③25%の**アジアNIES向け**も産業機械、自動車、同部品が堅調である一方、電子デバイス、電子計算機はマイナスが続き、8.6%増となった。④17%を占める**EU向け**は産業用ロボット等の産業機械や建設機械、陸用内燃機関等は好調だが、自動車、電子計算機がマイナスとなり、全体で5.9%増の伸びとなった。
- ・一方、⑤23%の**米国向け**は、自動車、民生用電子機械、建設機械、軽機械等がマイナスとなり、5.4%減と昨年9月以降、6ヵ月連続で前年実績を下回っている。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向 (単位: 億円)

	2007/11			2007/12			2008/1			2008/2		
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア
全世界計	50,282	8.1	100.0	51,141	5.5	100.0	43,744	5.8	100.0	47,457	6.5	100.0
米国	11,555	▲7.3	23.0	11,801	▲4.6	23.1	9,996	▲2.4	22.9	10,982	▲5.4	23.1
EU	7,863	6.5	15.6	8,477	3.4	16.6	7,555	7.9	17.3	8,184	5.9	17.2
NIES/ASEAN	12,760	10.0	25.4	13,104	4.9	25.6	10,927	4.6	25.0	11,851	8.6	25.0
中国	6,353	8.2	12.6	6,683	5.8	13.1	4,995	▲0.5	11.4	5,728	11.4	12.1
その他	11,751	27.7	23.4	11,076	21.9	21.7	10,271	18.9	23.5	10,711	14.2	22.6

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. アジア主要国向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位: 億円)

国名	2007/10		2007/11		2007/12		2008/1		2008/2	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
中国	6,762	19.5	6,353	8.2	6,683	5.8	4,995	▲ 0.5	5,728	11.4
韓国	2,507	7.8	2,564	10.2	2,387	▲ 11.2	2,129	▲ 5.5	2,402	▲ 1.4
台湾	2,052	▲ 12.3	2,313	▲ 2.1	2,565	5.2	2,212	13.8	2,108	10.4
香港	2,466	8.0	2,487	14.2	2,346	▲ 0.2	1,936	▲ 4.8	2,116	10.2
タイ	1,534	10.0	1,593	17.7	1,637	10.1	1,355	13.2	1,496	4.1
シンガポール	1,452	9.2	1,225	▲ 5.0	1,270	1.5	1,162	2.2	1,246	4.7
マレーシア	925	6.8	895	7.9	1,193	35.7	725	11.5	867	11.2
フィリピン	701	7.5	703	11.2	654	2.6	552	▲ 16.8	614	6.4
インドネシア	610	46.5	566	42.4	629	37.2	514	33.6	599	29.7
ベトナム	330	55.9	367	77.5	376	47.5	303	91.5	347	102.7
インド	390	69.3	374	25.9	490	37.2	340	41.5	396	40.3

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4) 業種別輸出動向～自動車、産業機械の伸び率が一桁台へ鈍化～

・2月の業種別輸出では、全体の36%を占める自動車が7%増と5ヵ月ぶりに一桁台の伸びになるとともに、産業機械(7.9%増)も14ヵ月ぶりに一桁台へと鈍化した。船舶(66.7%増)、建設機械(27.7%増)、光学機械(18.2%増)、通信機械(19.3%増)、陸用内燃機関(14.1%増)、ベアリング(20.2%増)、繊維機械(42.8%増)、農業機械(17.6%増)、産業車両(21.4%増)が二桁と好調であった。マイナスとなったのは、電子デバイス(13.1%減)、TV等の民生用電子機械(1.9%減)、電子計算機(9.9%減)、事務機械(24.3%減)の4業種であった。

図表7. 上位19業種の輸出額の動き

(単位: 億円)

2007/12			2008/1			2008/2		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
自動車	18,390	11.0	自動車	16,017	11.9	自動車	17,217	7.0
産業機械	8,003	20.7	産業機械	6,593	10.0	産業機械	7,537	7.9
電子デバイス	4,354	2.3	電子デバイス	3,690	▲ 10.8	電子デバイス	3,739	▲ 13.1
民生用電子機械	3,255	▲ 6.8	民生用電子機械	2,649	▲ 6.1	民生用電子機械	2,887	▲ 1.9
軽電気機械	2,745	16.0	船舶	2,482	7.5	軽電気機械	2,443	4.2
重電気機械	2,231	2.7	軽電気機械	2,197	2.6	重電気機械	2,032	6.0
軽機械	1,927	▲ 0.4	重電気機械	1,713	3.7	船舶	1,800	66.7
船舶	1,624	22.5	軽機械	1,505	6.9	軽機械	1,717	2.2
建設機械	1,547	15.6	光学機械	1,158	19.8	建設機械	1,470	27.7
光学機械	1,348	7.5	建設機械	1,137	9.1	光学機械	1,192	18.2
電子計算機	1,103	▲ 55.8	電子計算機	906	▲ 24.2	電子計算機	1,070	▲ 9.9
通信機械	1,092	97.1	通信機械	795	23.6	通信機械	867	19.3
工作機械	863	▲ 3.3	工作機械	691	5.1	工作機械	843	8.4
陸用内燃機関	438	12.6	陸用内燃機関	371	10.4	陸用内燃機関	425	14.1
ベアリング	356	4.9	ベアリング	308	14.3	ベアリング	356	20.2
繊維機械	289	8.2	農業機械	214	5.8	繊維機械	303	42.8
農業機械	242	4.3	繊維機械	191	▲ 14.0	農業機械	251	17.6
産業車両	230	24.1	産業車両	189	27.5	産業車両	231	21.4
事務機械	134	▲ 28.0	事務機械	101	▲ 30.4	事務機械	103	▲ 24.3
18機種合計	50,171		18機種合計	42,907		18機種合計	46,483	

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・民生用電子機械: デジカメ、TV、部品。電子計算機: パソコン、HDD・プリンター等部品。

軽電気機械: 白物家電、電子計測器。軽機械: 分析器、医療機器。光学機械: 光学材料、カメラ。事務機: 複写機(単機能)、会計機

(5) 特定機種動向～産業車両、貨物自動車好調維持～

・伸び率上位12機種は、①NIES/ASEAN・EU向けが伸びた建設機械(27.7%増)、産業車両(21.4%増)、ベアリング(20.2%増)、デジタル・ビデオ・TVカメラ(12.5%増)、②NIES/ASEAN・米国向けが伸びた発電機(35.7%増)、農業機械(17.6%増)、③中国・NIES/ASEAN向けが伸びた光学機械(18.2%増)、繊維機械(42.8%増)、④EU・中国向けが伸びた陸用内燃機関(14.1%増)、⑤EU向けが伸びた産業用ロボット(21.1%増)である。

・一方、10%以上減少した機種は、新機種への変更による事務機械(24.3%減)、生産拠点を海外へ移したエアコン(17.8%減)、需要の変動による原動力機械(10.6%減)、価格低下による電子デバイス(13.1%減)である。

図表8. 伸び率上位12機種(月50億円、10%増以上)

(単位:億円)

2007/12			2008/1			2008/2		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
携帯電話	58	65.0	原動力機械	426	83.7	船舶	1,800	66.7
半導体・パネル製造装置	1,342	61.9	デジタルカメラ	1,093	35.7	繊維機械	303	42.8
運搬機械	426	25.9	産業車両	189	27.5	発電機	203	35.7
産業車両	230	24.1	半導体・パネル製造装置	1,329	24.4	建設機械	1,470	27.7
船舶	1,624	22.5	貨物自動車	817	20.1	産業車両	231	21.4
金属加工機械	392	19.1	光学機械	1,158	19.8	産業用ロボット	76	21.1
テレビ	230	18.8	運搬機械	309	19.3	ベアリング	356	20.2
乗用車	11,967	16.0	ベアリング	308	14.3	光学機械	1,192	18.2
貨物自動車	1,049	15.9	電池	379	12.7	貨物自動車	958	18.0
建設機械	1,547	15.6	分析試験検査機	648	12.3	農業機械	251	17.6
デジタルカメラ	1,254	14.0	自動車部品	3,686	12.0	陸用内燃機関	425	14.1
陸用内燃機関	438	12.6	乗用車	10,523	11.6	デジタル・ビデオ・TVカメラ	887	12.5
12機種合計	20,557	40.2%	12機種合計	20,865	47.7%	12機種合計	8,152	17.2%

は、2ヶ月連続で上位12機種 *12機種合計%は輸出額に占める割合

図表9. マイナス伸び率上位10機種(月10億円以上、10%減以上)

(単位:億円)

2007/12			2008/1			2008/2		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
磁気カード・ディスク等	378	▲ 57.9	事務機械	101	▲ 30.4	事務機械	103	▲ 24.3
電子計算機	1,103	▲ 55.8	電子計算機	906	▲ 24.2	エアコン	131	▲ 17.8
無線通信機器	72	▲ 44.9	無線通信機器	41	▲ 19.2	電子デバイス	3,739	▲ 13.1
事務機械	134	▲ 28.0	産業用ロボット	62	▲ 17.7	原動力機械	402	▲ 10.6
民生用部品	1,481	▲ 22.2	ラジオ	25	▲ 14.9			
ラジオ	37	▲ 18.2	繊維機械	191	▲ 14.0			
発電機	162	▲ 12.5	電子デバイス	3,690	▲ 10.8			
機種合計	3,367	6.6%	機種合計	5,016	11.5%	機種合計	4,375	9.2%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 *機種合計の%は機械輸出額に対する割合

(6) 機械輸入動向～輸入伸び率5ヵ月ぶりのマイナス～

- 2月の機械輸入額は4.6%減と5ヵ月ぶりにマイナスとなった。その原因は、二大輸入機種の電子デバイス(2.9%減)、電子計算機(12.5%減)が前月に引き続き、ともにマイナスとなり、その他5機種も前年実績を下回ったためである。他方、自動車部品(19%増)、航空機(56.8%増)、民生電子部品(16.7%増)は二桁の伸びと好調であった。

なお、輸入額が輸出額を上回っている機種として、ラジオ、電子計算機、携帯電話、無線通信機器、医療機器、時計、事務機械、複写機、写真機となっている。

- 2月の輸入額では、NIES/ASEAN(3.8%減)が中国(8.5%減)を上回り、再び最大の輸入相手となった。以下、米国(5.8%増)、EU(10.4%減)の順となっている。

図表10. 機械輸入額上位12機種

(単位:億円)

2007/12				2008/1				2008/2			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	2,355	2.8	14.1	電子デバイス	2,398	▲ 4.1	14.0	電子デバイス	2,135	▲ 2.9	14.4
電子計算機	2,110	▲ 13.4	12.6	電子計算機	2,066	▲ 3.4	12.0	電子計算機	1,828	▲ 12.5	12.4
自動車部品	911	24.9	5.4	自動車部品	991	22.6	5.8	自動車部品	846	19.0	5.7
重電気機械	799	3.3	4.8	重電気機械	842	▲ 1.5	4.9	重電気機械	699	▲ 2.7	4.7
乗用車	588	▲ 28.2	3.5	乗用車	644	1.3	3.8	航空機	643	56.8	4.3
航空機	548	37.8	3.3	航空機	584	▲ 14.3	3.4	光学機械	460	▲ 20.8	3.1
光学機械	514	▲ 22.9	3.1	光学機械	489	▲ 5.4	2.8	民生電子部品	418	16.7	2.8
民生電子部品	448	5.2	2.7	民生電子部品	456	18.6	2.7	白物家電	380	▲ 10.6	2.6
白物家電	435	4.3	2.6	白物家電	409	▲ 1.1	2.4	乗用車	379	▲ 31.3	2.6
分析試験検査機	388	▲ 12.2	2.3	医療機器	322	1.6	1.9	分析試験検査機	340	▲ 6.4	2.3
医療機器	373	19.7	2.2	分析試験検査機	321	▲ 7.9	1.9	医療機器	307	6.4	2.1
半導体・パネル製造	285	0.4	1.7	風水力機械	263	13.7	1.5	風水力機械	223	4.7	1.5
12機種合計	9,754		58.3	12機種合計	9,785		57.0	12機種合計	8,658		58.5

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電・民生用電気機械